

## 移動等円滑化促進地区 日常生活圏域別バリアフリー化方針

### 1. 移動等円滑化の促進に関する基本的な方針の設定

基本計画 第3章に掲載予定

基本計画では、市民生活の水準向上を目指すことが望ましいことから、バリアフリー化のボトムアップを図るため、市全域を促進地区に設定し、文化センターを中心とした11エリアの日常生活圏域に区分しています。

このことから、「移動等円滑化の促進に関する基本的な方針(法第24条の2第3項)」として、以下の2つの方針を設定します。

- 市全域を対象とする基本計画の基本的な方針
- 日常生活圏域別バリアフリー化方針

### 2. 市全域を対象とする基本計画の基本的な方針 (参照:第2回協議会資料2,3頁)

基本計画では、バリアフリー法に基づき、高齢者や障害者をはじめ、全ての市民にとって施設利用や移動がしやすいまちづくりに向けて、本市、市民及び事業者が互いの理解と協力のもとで、安全で快適なバリアフリーの環境づくりや、公共交通や主要な施設等の利便性の向上、福祉のまちづくりを推進することを目的として、基本方針を次のように定めます。

#### 府中市バリアフリー基本計画の基本的な方針

誰もが利用しやすい公共交通機関を目指します。

鉄道・バス・タクシー等のバリアフリー化の推進

誰もが利用しやすい生活基盤を目指します。

建築物や駐車場、都市公園等のバリアフリー化の推進

誰もが歩きやすいまちを目指します。

道路や信号機等の都市基盤の面的なバリアフリー化の推進

誰もが互いに理解し、支えあうまちを目指します。

市民一人一人の心のバリアフリーの推進による社会的障壁の除去及び共生社会の実現

### 3. 日常生活圏域別バリアフリー化方針

基本計画 第4章に掲載予定

#### (1) 中央福祉エリア

中央福祉エリアは、人口が市内で最も多く、高齢化率は市の平均より低いエリアです。エリア内には、JR北府中駅、京王線府中駅、府中競馬正門前駅の3駅が立地しており、3駅の乗降客数の総数は他のエリアに比べ2番目に多いエリアとなっています。

駅から500m程度の範囲内には、生活関連施設が最も多く集積しており、京王線府中駅の周辺は大規模店舗が集積しています。

##### <地区の概要>

面積	約3.65 km <sup>2</sup> (3,649,370 m <sup>2</sup> )	
旅客施設乗降客数	北府中駅(JR線)	24,102人
	府中駅(京王線)	75,924人
	府中競馬正門前駅(京王線)	1,794人
生活関連施設数	62施設	
生活関連経路延長	調整中	

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

##### <現況の評価と課題>

現況の評価	府中駅及び周辺地区で、バリアフリー化が進んでいます。
課題1	府中駅周辺では、旧基本構想の状況を踏まえ、引き続き、面的・一体的なバリアフリー化が必要です。
課題2	北府中駅周辺では、府中街道の東西の移動など周辺道路の状況を踏まえた、面的・一体的なバリアフリー化が必要です。
課題3	府中公園通り等の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

##### <中央福祉エリア バリアフリー化方針>

- 方針1：府中駅周辺における面的・一体的なバリアフリー化を促進します。
- 方針2：北府中駅周辺における面的・一体的なバリアフリー化を促進します。
- 方針3：生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

## (2) 片町福祉エリア

片町福祉エリアは、人口が市内で3番目に多く、高齢化率は市の平均より低いエリアです。エリア内には、JR府中本町駅、JR・京王線分倍河原駅の2駅が立地しており、2駅の乗降客数の総数は最も多いエリアとなっています。駅の周辺には施設立地は少なく、分倍河原駅は京王線とJR線の乗換駅となっています。

### <地区の概要>

面積	約 2.38 km <sup>2</sup> (2,380,020 m <sup>2</sup> )	
旅客施設乗降客数	府中本町駅(JR線)	28,108人
	分倍河原駅(JR線)	70,012人
	分倍河原駅(京王線)	80,296人
生活関連施設数	26施設	
生活関連経路延長	調整中	

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

### <現況の評価と課題>

現況の評価	府中本町駅や府中街道で、バリアフリー化が進んでいます。
課題1	分倍河原駅周辺では、まちづくりの状況を踏まえた、面的・一体的なバリアフリー化が必要です。
課題2	府中本町駅周辺では、府中駅との接続など周辺道路の状況を踏まえた、面的・一体的なバリアフリー化が必要です。
課題3	かえで通り等の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

### <片町福祉エリア バリアフリー化方針>

- 方針1：分倍河原駅周辺における面的・一体的なバリアフリー化を促進します。
- 方針2：府中本町駅周辺における面的・一体的なバリアフリー化を促進します。
- 方針3：生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

### (3) 新町福祉エリア

新町福祉エリアは、人口は平均的で、高齢化率は市の平均より高いエリアです。

エリア内には、鉄道駅は立地しておらず、府中の森公園や府中の森芸術劇場、府中市美術館など文化施設が集積しています。

#### <地区の概要>

面積	約 2.90 km <sup>2</sup> (2,897,540 m <sup>2</sup> )
旅客施設乗降客数	鉄道駅なし
生活関連施設数	16 施設
生活関連経路延長	調整中

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

#### <現況の評価と課題>

現況の評価	府中の森公園や東八道路で、バリアフリー化が進んでいます。
課題 1	学園通り等の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

#### <新町福祉エリア バリアフリー化方針>

方針 1 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

#### (4) 白糸台福祉エリア

白糸台福祉エリアは、人口が市内で2番目に多く、高齢化率は市の平均より低いエリアです。エリア内には、京王線多磨霊園駅、京王線武蔵野台駅、西武多摩川線白糸台駅の3駅が立地しており、3駅の乗降客数の総数は他のエリアに比べ3番目に多いエリアとなっています。駅の周辺には施設立地は少なく、駅から離れた甲州街道沿いに大規模店舗が立地しています。

##### <地区の概要>

面積	約 2.34 km <sup>2</sup> (2,336,700 m <sup>2</sup> )	
旅客施設乗降客数	多磨霊園駅(京王線)	11,939人
	武蔵野台駅(京王線)	21,169人
	白糸台駅(西武多摩川線)	6,038人
生活関連施設数	17 施設	
生活関連経路延長	調整中	

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

##### <現況の評価と課題>

現況の評価	多磨霊園駅及び武蔵野台駅で、バリアフリー化が進んでいます。
課題1	武蔵野台駅及び白糸台駅周辺の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。
課題2	品川街道等の道路で、視覚障害者用誘導ブロック等が設置されていない箇所があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

##### <白糸台福祉エリア バリアフリー化方針>

方針 1 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

## (5) 紅葉丘福祉エリア

紅葉丘福祉エリアは、人口は平均的で、高齢化率は市の平均と同程度のエリアです。

エリア内には、西武多摩川線多磨駅が立地しており、乗降客数が最も少ないエリアです。エリア内には、都立多磨霊園や東京外国語大学が立地しており、外国人の利用が多いエリアです。

### <地区の概要>

面積	約 4.11 km <sup>2</sup> (4,113,820 m <sup>2</sup> )	
旅客施設乗降客数	多磨駅(西武多摩川線)	11,589人
生活関連施設数	13 施設	
生活関連経路延長	調整中	

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

### <現況の評価と課題>

現況の評価	多磨駅で、バリアフリー化が進んでいます。
課題1	紅葉丘文化センター周辺等の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

### <紅葉丘福祉エリア バリアフリー化方針>

方針 1 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

## (6) 是政福祉エリア

是政福祉エリアは、人口は平均的で、高齢化率は市の平均と同程度のエリアです。エリア内には、京王線東府中駅、西武多摩川線競艇場前駅、是政駅の3駅が立地しています。3駅の中で、東府中駅の乗降客数が多くなっていますが、エリアの北の境界に近接しています。

### <地区の概要>

面積	約 3.04 km <sup>2</sup> (3,043,450 m <sup>2</sup> )	
旅客施設乗降客数	東府中駅(京王線)	19,309人
	競艇場前駅(西武多摩川線)	2,773人
	是政駅(西武多摩川線)	6,587人
生活関連施設数	14 施設	
生活関連経路延長	調整中	

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

### <現況の評価と課題>

現況の評価	東府中駅、是政駅及び競艇場前駅で、バリアフリー化が進んでいます。
課題1	東府中駅周辺では、踏切が多いなど周辺道路の状況を踏まえた、面的・一体的なバリアフリー化が必要です。
課題2	九中通り等の道路で、視覚障害者用誘導ブロック等が設置されていない箇所があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

### <是政福祉エリア バリアフリー化方針>

- |   |
|---|
| 方針 1 : 東府中駅周辺における面的・一体的なバリアフリー化を促進します。  |
| 方針 2 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。 |

## (7) 押立福祉エリア

押立福祉エリアは、人口が市内で最も少なく、高齢化率が市内で最も高いエリアです。エリア内には、鉄道駅が立地していません。多摩川に接しており、エリア内に多摩川緑地が立地しています。

### <地区の概要>

面積	約 1.94 km <sup>2</sup> (1,939,980 m <sup>2</sup> )
旅客施設乗降客数	鉄道駅なし
生活関連施設数	6 施設
生活関連経路延長	調整中

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

### <現況の評価と課題>

現況の評価	押立文化センターや公園、中央道側道で、バリアフリー化が進んでいます。
課題 1	押立通り等の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

### <押立福祉エリア バリアフリー化方針>

方針 1 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

## (8) 西府福祉エリア

西府福祉エリアは、人口は平均的で、高齢化率は市内で最も低いエリアです。

エリア内には、JR/西府駅が立地しており、乗降客数が比較的多いエリアです。駅の周辺には大規模店舗が立地しています。

西府福祉エリアの概要を下表に示します。

### <地区の概要>

面積	約 2.78 km <sup>2</sup> (2,782,710 m <sup>2</sup> )	
旅客施設乗降客数	西府駅(JR 線)	18,184人
生活関連施設数	14 施設	
生活関連経路延長	調整中	

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

### <現況の評価と課題>

現況の評価	西府駅や大規模店舗及び周辺道路で、バリアフリー化が進んでいます。
課題1	七小通り等の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

### <西府福祉エリア バリアフリー化方針>

方針 1 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

## (9) 武蔵台福祉エリア

武蔵野台福祉エリアは、人口が比較的少なく、高齢化率は市内で2番目に高いエリアです。

エリア内には、鉄道駅が立地しておらず、一部地域では坂道が多くっています。また、エリア内には都立の医療施設が集積しています。

### <地区の概要>

面積	約 1.67 km <sup>2</sup> (1,674,010 m <sup>2</sup> )
旅客施設乗降客数	鉄道駅なし
生活関連施設数	16 施設
生活関連経路延長	調整中

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

### <現況の評価と課題>

現況の評価	武蔵台文化センター等の公共施設や商業施設、新府中街道で、バリアフリー化が進んでいます。
課題 1	武蔵台通り等の道路で、視覚障害者用誘導ブロック等が設置されていない箇所があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。
課題 2	せせらぎ公園等の公園施設において、トイレのバリアフリー化が必要です。

### <武蔵台福祉エリア バリアフリー化方針>

方針 1 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

方針 2 : 公園施設における更なるバリアフリー化を促進します。

## (10) 四谷福祉エリア

四谷福祉エリアは、人口が比較的少なく、高齢化率は市の平均より低いエリアです。エリア内には、鉄道駅が立地していません。エリア内には文化センターを中心に公共施設が立地しています。

### <地区の概要>

面積	約 1.85 km <sup>2</sup> (1,849,400 m <sup>2</sup> )
旅客施設乗降客数	鉄道駅なし
生活関連施設数	6 施設
生活関連経路延長	調整中

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

### <現況の評価と課題>

現況の評価	四谷文化センター等の公共施設で、トイレ等のバリアフリー化が進んでいます。
課題1	四谷文化センター等の公共施設で、エレベーター等の更なるバリアフリー化が必要です。
課題2	四谷通り等の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

### <四谷福祉エリア バリアフリー化方針>

方針 1 : 公共施設における更なるバリアフリー化を促進します。

方針 2 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。

## (11) 住吉福祉エリア

住吉福祉エリアは、人口は比較的多く、高齢化率は市の平均よりも高いエリアです。エリア内には、京王線/中河原駅が立地しており、乗降客数が比較的多いエリアです。駅の周辺には大規模店舗が立地しています。

また、男女共同参画センター「フューラル」には多くの外国人が利用する施設があります。

### <地区の概要>

面積	約 2.62 km <sup>2</sup> (2,622,980 m <sup>2</sup> )	
旅客施設乗降客数	中河原駅(京王線)	23,040人
生活関連施設数	14 施設	
生活関連経路延長	調整中	

令和4年度時点(JR:1日平均乗車人員の2倍・1日平均乗降人員)

### <現況の評価と課題>

現況の評価	中河原駅や大規模店舗で、バリアフリー化が進んでいます。
課題1	中河原駅周辺では、鎌倉街道の東西の移動など周辺道路の状況を踏まえた、面的・一体的なバリアフリー化が必要です。
課題2	下河原通り等の道路で、一部歩道幅員が狭い、舗装面に凸凹や段差があるなど、生活関連経路の更なるバリアフリー化が必要です。

### <住吉福祉エリア バリアフリー化方針>

- 方針 1 : 中河原駅周辺における面的・一体的なバリアフリー化を促進します。
- 方針 2 : 生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進します。